

市営塾の創設と英検3級の受験費用の補助を

多久市の特色ある教育について

廣橋 佐賀県内の学力の平均値と比較した場合、市の9年生の学力の状況は。

答弁 国語は平均、数学・英語は県の平均を下回っています。

廣橋 大分県の豊後高田市では、学びの21世紀塾という無料の市営塾を開講しています。市でも市営塾を行うことは可能か。

答弁 数学だけではありますが、市営塾のような教育のサポートを週2回行っています。

廣橋 数学だけでなく、他の科目に広める予定は。

答弁 他の科目に広げるとすると、予算面でも検討が必要です。

廣橋 第5次多久市総合計画後期基本計画の中で、英語教育の充実を掲げていますが、どのような取り組みをしているのか。

答弁 できるだけ多くネイティブの英語に触れ、9年間で英検3級取得を目指しています。



廣橋 時則 議員

廣橋 英検3級の取得を9年間の目標とした場合、生徒の英語力が伸びると考えられるか。

答弁 生徒のやる気は上がり、英語力向上につながると考えます。

廣橋 多久市の9年生全員に英検3級を受検させた場合の費用は。

答弁 今年度の9年生で計算すると646,800円です。

廣橋 予算化の検討は。

答弁 他の市町の動向や教育委員会と連携しながら導入に向けて検討していきたい。



出生数減少と転出者にストップ

少子高齢化と人口減少について

田淵 多久市の令和4年から令和8年5月までの転入者は3,625人、転出者は4,075人です。この転入者の移住定住対策の制度利用状況と、アンケートはとっているのか。

答弁 定住奨励金の令和4年から令和7年まで、市外からの利用者は287人です。この定住奨励金で転入の要因になったかのアンケートでは「なった」どちらかと言えば「なった」が68.7%ですので一定の効果があったと思います。

田淵 保育料無償化は負担軽減効果があると思いますが、今後の検証と市の財政バランスをどう保つか。

答弁 財政バランスについては多角的な視点で検証は必要と考えています。また今後の検証として人口動態や出生率などの変化を注視するとともに、保護者へのアンケートを定期的にしながら実態を把握したいと考えています。

田淵 地域おこし協力隊の地域定着、移住者担当専任者の配置、お試



田淵 厚 議員

し住まい制度などの今後の方向性は。

答弁 第5次多久市総合計画後期計画で移住・定住施策の充実の項目を設け、定住の促進や住宅団地の開発の取り組みを進めていくこととしています。

学校の適正規模の検討

「まったなしでは」

教育環境について

市丸 昨年生まれた子どももの6年後の各校での新入学者の人数は。

答弁 令和8年3月末の指定区別年齢別男女別人口調べによると、6年後の新入学者の人数は、東部校が12名、中央校が43名、西溪校が8名の合計で63名です。

市丸 前回の学校統廃合時のスケジュールは。

答弁 平成18年7月に多久市小中学校適正規模・適正配置検討委員会を設置しました。平成20年8月に委員会より最終答申を受け、関係者・地元説明などを行い、平成23年4月に3中学校区に小学校、中学校の統合に向けた整備を開始、平成25年4月から小中一貫校設置、開校となりました。

市丸 最終的に、9年間ほどかかっている。6年後には新入生63人、検討委員会設置まったなしではないか。

答弁 少子化を背景とした児童生徒数の減少に加え、学校の小規模化が進む現状は、今後の教育環境の整備において大きな課題と認識してい



市丸 勝義 議員

ます。そのため、多久市の未来を考える視点と、学校教育の状況の変化を踏まえ、来年度には小中学校適正規模・適正配置検討委員会の設置を図ることができるよう検討していきたいと思っています。

来たれ 就農者！

多久市農業振興計画2021について

彌富 多久市の現在の農業生産人口は。

答弁 令和7年度483名です。令和2年の609名から20.7%の減となっています。

彌富 市内の遊休農地面積は。

答弁 平成28年の212ヘクタールから令和7年251.1ヘクタールに増加しています。

彌富 今般の農業法人参入の目的は。

答弁 遊休農地の解消やスマート農業の実践など、今後の課題解消を期待しています。また後継者不足で不安を抱えている地域や条件不利地での営農を継続できる仕組みに繋げて行くことを目的としています。

彌富 地域振興作物「青しまうり、ブロッコリー、露地なす、玉ねぎ」への奨励金の加算は。

答弁 10アール当たり3万5千円となっており、以前より5千円の増額となっています。



彌富 博幸 議員

彌富 次期「多久市農業振興計画」で次の提案を検討できないか。

- ①新規就農者への就業時の住まい・農地など斡旋の充実
- ②耕作放棄地開墾費補助10アール当たり10万円
- ③親元就農への支援の充実

答弁 他市の施策・財源も検討しながら今後も幅広く研究していきたい。

彌富 「多久市で農業をやりましょ」と広報に力を入れて頂きたい。

答弁 相談窓口のワンストップ化や関係部署との連携により一人でも多くの方が多久市で農業を始めようと思えるように取り組んで行きたい。